

## 音楽学部・人文学部・教員年次研究報告書

(1996年4月～2000年3月)

大学の自己点検・自己評価が厳しく問われている今日の現状に鑑みて、相愛大学教員は以下に、1996年4月～2000年3月までの研究成果を自主的に掲載し、内外識者の評価を仰ぎたいと思います。もちろん、我々教員はこのような評価を真摯に受け止めて、一人一人が教育の現場に還元するべく精進を重ねて行かねばならないことは当然であります。すでに平成8年には相愛大学として、『響流——相愛大学自己点検・評価報告書——』という形で世にその成果を問うております。それからすでに4年が経過し、その間、日本社会も目まぐるしく変化してきました。『響流』の改訂版は、ここ2、3年内の出版が予定をされていますが、少しでも早く最新の研究状況を内外にお知らせするのが時宜にかなったことと考え、今回は『研究論集』第16号の中に組み込むという形を取らせていただきました。この研究業績一覧を目にされた方は、これを契機に我々教員に対して、厳しい叱正、あるいはご意見をいただければ幸いです。(掲載はアイウエオ順)

### 〔音楽学部〕

#### (1) 戎 谷 六 雄

1. 「南港合唱団定期演奏会」1997年3月30日 相愛大学南港ホール MOZART: REQUIEM 他
2. 「オーケストラの演奏会」1999年7月18日 有田市民会館大ホール チャイコフスキー: バレエ音楽「白鳥の湖」より他
3. 「高知室内管弦楽団ウィンターコンサート」1999年2月17日 高知ラ・ヴィータホール 早川正昭: バロック風「日本の四季」他

#### (2) 沖 浩 一

1. 「相愛大学市民教養講座——音楽の七不思議: 音楽常識の再検証」1997年11月1日 相愛大学南港講堂
2. 「東京演奏研究会記念コンサート」1999年11月7日 東京読売ホール
3. 祝賀演奏会「大人の集い・コンサート」2000年1月8日 相愛大学南港講堂

(3) 小 栗 まち絵

1. 「J.S.バッハ：ヴァイオリンの為のソナタ・パルティータ全曲連続演奏」第1回1996年10月28日 イシハラホール（BWV1014,1001,1002,1015）第2回1996年11月28日 イシハラホール（BWV1016,1003,1004,1017）第3回1997年4月16日 イシハラホール（BWV1018,1005,1006,1019）
2. 「大阪フィルハーモニー交響楽団コンサート」1996年10月11日 堺市民会館大ホール チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲
3. 「音楽の未来への旅シリーズ'98」1998年7月10日 いずみホール 武満徹：揺れる鏡の夜明け、L. ベリオ：デュエット

(4) 門 屋 菊 子

1. リサイタル「ソプラノのためのモノオペラ『女はすてき』」1998年11月18日 いずみホール
2. 山田耕筈特集「小坂圭太氏とジョイント・リサイタル」1999年11月26日 音楽の友ホール
3. <オペラ講座>「オペラ『カルメン』に見る女性像のあれこれ」1996年9月25日 アルカイックホール・オクト

(5) 木川田 誠

1. 「関西二期会オペラ#46.」R. ワグナー「ワルキューレ」フンディング役（プロデュース）指揮 現田茂夫 演出 西澤敬一 大阪フィル⊕若本明志、岡坊友美子他 1997年5月10日 アルカイックホール
2. 「関西二期会オペラ#49.」R. シュトラウス「ナクソス島のアリアドネ」執事役（プロデュース）指揮 現田茂夫 演出 松本重孝 京響⊕岡坊友美子、日紫喜恵美他 1998年10月10,11日 アルカイックホール
3. 関西二期会創立35周年記念「木川田 誠バリトンリサイタル」ピアノ 戎洋子 長谷川美穂子 1999年6月29日 いずみホール（モーツァルト、シューベルト、山田耕筈、ワグナー作品より）

参考

「相愛オペラ第二回」モーツァルト「魔笛」ザラストロ役 指揮 梅田俊明 演出 平尾力哉 相愛オーケストラ⊕山田健司、村井幹子他 1998年3月7日 アルカイックホール

(6) 久保田 清 二

1. 独奏「J.S.Bach作曲：前奏曲とフーガ変ホ長調」「R.Schumann作曲：B-A-C-Hによるフーガ全6曲、カノン全6曲」他 1996年8月25日 Markuskirche (ドイツHannover市)
2. 独奏「D.Buxtehude作曲：Toccataニ短調」「J.S.Bach作曲：幻想曲」「J. Rheinberger作曲：ソナタ5番」他 1998年8月2日 Markuskirche(ドイツHannover市)
3. 講演「J.S.Bachとその周辺」+演奏(独奏)「J.S.Bach作曲：トッカータとフーガニ短調」「J.G.Walther作曲：協奏曲 ロ短調」他 1999年6月18日 鹿児島加治屋町教会

(7) 小坂 圭 太

1. 「小坂圭太ピアノリサイタル」(自主公演) 1997年3月21日(ベートーヴェン、ブレーズ、モーツァルト、フランク) 1999年7月8日(モーツァルト、ブゾーニ、ストラヴィンスキー、ベートーヴェン) 東京文化会館小ホール
2. 「サントリー・サマー・スペシャル」(主催：サントリー音楽財団)への出演 1998年度シュトックハウゼン／ルフラン(共演：中川俊郎、菅原淳) 1999年度ドビッシェ／ビリティスの歌(共演：N.ワッセルマン、小泉浩、高桑英世、篠崎史子、篠崎和子) サントリーホール(小)
3. 東京の夏音楽祭「ディアギレフ」(主催：アリオン音楽財団)への出演 1998年7月16日(レクチャー：船山隆、編曲／共演：寺嶋陸也) 津田ホール

(8) 斎藤 達男

1. 関西こども文化協会主催「親と子のクラシック入門講座」シリーズ全8回の企画コーディネーター 1997年2月11日～6月13日
2. 「トリオ オーベール ピアノトリオコンサート」(研究助成) 1998年11月2日 いずみホール
3. 「なら100年会館」開館記念「なら チェンバールアンサンブル 記念演奏会」(室内楽) 1999年2月7日

(9) 佐藤 充彦

1. 「ショパンとフェリクス・メンデルスゾーン＝バ＝ソロディ」『音楽研究所誌』第6号、1999年
2. 「日本人とショパン」『日本ポーランド交流80周年記念誌』1999年

3. 「ショパンのプレリュードの研究」『相愛大学論集』第16号 2000年

(10) 澤 村 千栄子

1. コンセルショレア演奏会「ヴァイオリンリサイタル」1999年5月25日 相愛大学南港講堂
2. 「ヴァイオリンリサイタル」1999年5月27日 吹田メイシアター中ホール
3. 「ソナタで祝う春」1998年4月18日 武庫川学院甲子園会館

(11) 高橋 滋子

1. 「荘田作・佐藤康子ジョイントリサイタル」において、高橋滋子作曲「コップに花をさしました」「子守唄」「紅ばら」「陽炎と葬列」の4曲が、メゾソプラノ荘田作氏によって演奏される。1996年5月31日 いずみホール
2. 「日本歌曲の流れ第6回」において、高橋滋子作曲「晩秋」「紅ばら」「陽炎と葬列」の3曲が、メゾソプラノ荘田作氏によって演奏される。1996年11月27日 いずみホール
3. 「あうろすフルートあんさんぶる第3回ヨーロッパ公演記念コンサート」において、高橋滋子作曲「Spring, Spring, Spring——フルート6重奏の為の——」が、あうろすフルートあんさんぶるのメンバーによって演奏される。1998年9月6日 青山記念館（バロックザール）

(12) 田 中 万美子

1. C.D.出版「BEETHOVEN.MASS OP.86 C Dur. Alt Solo」（朝比奈隆、文化勲章受章特別企画としてVictorより）1996年5月（指揮：朝比奈隆 大阪フィルハーモニー交響楽団の演奏 アルト・ソロ 1977年11月29日 大阪フェスティバルホールに於けるライブを再版）
2. 日伊合同オペラ「お蝶夫人」全2幕（原譜上演：スズキ役）1996年11月9日 アルカイクホール
3. コンコーネ50番から生まれた室内ミュージカル「白雪姫」制作・音楽指導 1999年9月23日 ドーンセンターホール（大阪府立女性総合センター7F）

(13) 田 辺 良 子

1. 京都文化博物館「歴史と共に」音楽会シリーズⅥ バッハ：無伴奏ソナタ2番、パルティータ3番 1996年10月30日 京都文化博物館
2. 「ブラームスに乾杯」ブラームス：ヴァイオリンソナタ2番op. 100 共演：

服部久美子（ピアノ） 1997年7月12日 いずみホール

3. 「リラックス・コンサート」ベートーヴェン：ソナタop.24他 共演：澤村千栄子（ピアノ）1998年4月18日 武庫川学院甲子園会館

(14) 辻 井 英 世

1. 「第18回〈現代の波〉音楽祭」音楽作品「アフトノン」（室内アンサンブルのための）演奏：宮下直子、水谷美佳他6名 1996年11月28日 いずみホール
2. 「第19回〈現代の波〉音楽祭」音楽作品「メテクシス——ソナタ・グラフィカ——」演奏：福富博文、大谷正和 1997年11月28日 いずみホール
3. 音楽作品シリーズ「シニフィアンス」——室内管弦楽のための——  
〈I α〉第20回〈現代の波〉音楽祭 1998年11月27日 いずみホール（管弦楽：ポリヒムニア・アンサンブル 指揮：稲垣宏樹）  
〈I β〉愛知シンフォニエッタ第1回演奏会 1999年9月15日 しらかわホール（管弦楽：愛知シンフォニエッタ 指揮：稲垣宏樹）  
〈II〉第21回〈現代の波〉音楽祭 1999年11月29日 いずみホール（管弦楽：ポリヒムニア・アンサンブル 指揮：稲垣宏樹）

(15) 椿 弘

1. 「全日本吹奏楽コンクール」奈良県大会（8月10,11,13,14日）関西大会（8月23～26日）及び中国大会（9月21,22日）審査員 「相愛ウィンドオーケストラ第18回定期演奏会」（10月30日）指揮、1996年
2. 「関西アンサンブルコンテスト」審査員（2月11日） 「三田市吹奏楽団10周年記念演奏会」（6月7日）指揮 「全日本吹奏楽コンクール」兵庫県大会（7月3日、8月10,11日）及び関西大会（8月21,22,24,25日）、中国大会（9月20,21日）審査員 「相愛ウィンドオーケストラ第19回定期演奏会」（10月14日）指揮、1997年
3. 「全日本吹奏楽コンクール」兵庫県大会（7月25,26日）及び関西大会（8月22,23日）審査員 「相愛ウィンドオーケストラ第20回定期演奏会」（11月7日）指揮、1998年  
「関西アンサンブルコンテスト」審査員（2月11日） 「全日本吹奏楽コンクール」兵庫県大会（7月24～26日）審査員 「相愛ウィンドオーケストラ第21回定期演奏会」指揮、1999年  
「関西アンサンブルコンテスト」審査員、2000年

(16) 南 部 明 子

1. 「音楽の楽しみ 御話と演奏」(主催国際ソロプチミスト長浜) 演奏曲目 シューマン：子供の情景 Op.15 ベートーヴェン：ソナタ Op.27 No.2 (月光) 1998年4月21日 (長浜) コンサート
2. 「サマーコンサート」(主催オルヒデーン クランツ) 演奏曲目 シューマン：子供の情景 Op.15 1998年8月3日 ベガホール
3. 「サマーコンサート」 演奏曲目 ショパン：マズルカ Op.17 No.1～No.4 ショパン：ポロネーズ Op.53 (英雄) 1999年7月27日 アクアホール

(17) 三 谷 美智子

1. 「発声の基礎実習 (講師)」横隔膜のトレーニング及び呼吸法と Ansatz について (主催日本声学発声学会夏期研修会) 1998年8月6日 尚美学園軽井沢ミュージックセミナハウス
2. 「合唱・歌唱の基本作り (講師) 呼吸法と共鳴について」(主催・大社町教育委員会 1999年3月29日 大社中学校
3. 「合唱・歌唱の基本作り (講師) ファルセットの歌声化 (講演と実習指導)」 1999年7月20日 川本邑遊会館ホール

(18) 山 田 健 司

1. 「関西二期会第45回オペラ公演」ビゼー作曲「カルメン」エスカシリョ役、指揮：手塚幸紀 演出：栗山昌良 管弦楽京都市交響楽団 1996年10月6日 尼崎アルカイクホール
2. アルカイクホールオペラ講座「セヴィリアとファイガロ登場人物あれこれ」講師 1997年10月16日 アルカイクホール オクト
3. 神戸オペラ協会公演 團伊玖磨作曲「夕鶴」惣ど役、指揮：中村健 演出：井原広樹 1999年11月6日7日 イタリア、パヴィア フラスキーニ劇場 1999年11月9日10日 イタリア、マチエータ ラウロロッシ劇場

(19) 米 田 哲 二

1. オペラ「ファルスタッフ」G.ヴェルディ作曲 (関西二期会主催) ファルスタッフ役に出演、指揮：佐藤功太郎、京都市交響楽団 演出：松本重孝 1996年6月23日 尼崎アルカイクホール
2. リサイタル (島本音楽協会主催) 歌曲集「白鳥の歌」F.シューベルト作曲 日本歌曲 1997年11月15日 島本町ケリヤホール

3. オペラ「ナクソス島のアリアドネ」R.シュトラウス作曲（関西二期会主催）  
音楽教師役に出演 指揮：現田茂夫 京都市交響楽団 演出：松本重孝  
1998年10月11日 アルカイクホール

20) 若 林 正 史

1. トワイライトコンサート（教員による演奏会）ドビュッシー、6つの古代の  
碑銘のフルートとピアノ版（K.レンスキー編）を関西初演 1997年5月27日  
相愛大学ホール
2. 「第8回日本フルートコンベンション」オープニングコンサートにおいて W.  
A. Mozart Variationen:〈Ah. Vovsdirai-je Maman〉P.エンゲル編をオーレル・  
ニコレ、J.Cl.ジェラルド等と日本初演 1997年8月29日 神奈川県民ホール
3. 「第4回日本フルートコンクール」審査員 1999年5月3日～7日 ガリバー  
ホール

〔人文学部〕

(1) David Blake Willis

1. *Transculturals, Transnationals – New Directions for 21st Century Humanity*  
Special Issue for the 21st Century, **International Schools Journal**, Spring  
2000
2. *Kobe: The Great Hanshin Earthquake of 1995: Three Papers, Journal of the*  
**American Society of Professional Emergency Planners**, Volume V-  
1998
  - 1) Voices from Kobe: The Great Hanshin Earthquake “On the Ground”
  - 2) Learning from Disaster: Schools, Children, and Teachers, with Masayuki  
Suzuki and Yukari Takimoto
  - 3) School Chaos and Teacher Voices: Learning from Educational Crisis  
Management, with Koji Nakamura, Takako Chamoto, Tadashi Imamichi,  
Kyoko Sugino, and Satoko Endo
3. *21st Century Directions for Multicultural Education: An Outsider's View Inside,*  
**Multicultural Education**, Winter 1997

(2) Teresa Bruner Cox

1. “Language as a Weapon: Navajo Code Talkers in the Paccific War.” *March*

1998; *Soai Ronshu, Osaka*;. 49 pages.

2. “When Silence is not Golden: International Students in American Universities.” Colloquium presented March 11, 1998; University of New Mexico, Department of Journalism and Communication.

(3) 神 原 文 子

1. 神原文子、「夫婦関係の緊張と挑戦」野々山久也・袖井孝子・篠崎正美編著『いま家族に何がおこっているのか』（ミネルヴァ書房、1996年）、69-87。
2. 神原文子、『現代の子育てと親子関係における階級差・地域差に関する実証研究』（奈良女子大学より、博士号（社会科学）授与。1999年。未公刊。）
3. 神原文子・高田洋子編著、『教育期の子育てと親子関係』（ミネルヴァ書房、2000年）

(4) 北 崎 契 縁

1. 「日本人の『チャタレー卿夫人の恋人』批評——吉田健一と福田恆存——」、D.H.ロレンス研究会編『ロレンス研究——『チャタレー卿夫人の恋人——』』（朝日出版社、1998年）、660-705。
2. Yasuichiro Ohashi, Hirokazu Yoshimura, Masako Yoshida, and Kaiken Kitazaki, “A Checklist of Works by and about D.H. Lawrence, 1991-1996, in Japanese,” *D.H. Lawrence Review*, Volume 28 Numbers 1-2 (The University of Texas at Austin, 1999), 137-159.

(5) 北 野 裕 通

1. 「務台理作『場所の論理学』」編集・解説（こぶし書房、1996年）
2. 「西田は現代世界をどう理解したか」、上田閑照・堀尾孟編『禅と現代世界』（禅文化研究所、1997年）
3. 『自覚の現象学』（行路社、1999年）

(6) 後藤田 輝 雄

1. デヴィッド・イーストン著（山川雄巳監訳）『政治構造の分析』（ミネルヴァ書房、1998年）、第16章「権威主義的政治構造への変形」（後藤田訳）、308-331.

(7) 小 松 茂 久

1. 「教育委員会制度の導入と組織原理」堀内孜他編『地方分権と教育委員会制度』



(ぎょうせい、2000年) 所収

2. “Curriculum”, in Kansai Society for Educational Administration (Ed.) *Educational System and Administration in Japan*, (Kyodo Shuppan, 1999) 159-173.
  3. 「小学生・中学生調査結果」平成9-11年度文部省科学研究員補助金基盤研究 A(1)『学校・学級の適正編制に関する総合的研究最終報告書』(2000年)
- (8) 佐々木 豊
1. 「アメリカ“赤狩り”時代の極東問題専門家——「学術的客観性」の理念をめぐる論争を中心に(上)(下)——」『史学』(慶大)、67巻1号(1997年9月)、131-159頁；67巻2号(1998年3月)、57-81頁。
  2. 「アメリカ合衆国における都市再開発事業と黒人住民——ニュージャージー州ニューアーク市における医科大学設置プロジェクト(1967)をめぐる論争の事例——」『相愛大学研究論集』14巻(2)(1998年3月) 59-81頁。
  3. 「アメリカの日本像の変遷——戦中／戦後期から1990年代まで——」『相愛大学研究論集』15巻(2)(1999年3月)、79-114頁。
- (9) 砂 川 博
1. 「保元物語における西行・為朝・忠実・頼長・忠通——『保元物語』成立圏追尋の試み——」軍記文学研究叢書3『保元物語の形成』(汲古書院、1997年)、219-242.
  2. 「木曾軍団と東国武士団——つわものたちの風土——」軍記文学研究叢書6『平家物語 主題・構想・表現』(汲古書院、1998年)、167-196.
  3. 『中世遊行聖の図像学』(岩田書院、1999年)、512.
- (10) 孫 久 富
1. 『日本上代の恋愛と中国古典』512頁 新典社研究叢書100 1996年7月
  2. 「日本の漢詩と淳力海の漢詩」『環日本海論叢』第8号 1996年10月 263-278 (15頁).
  3. 「言霊信仰と大陸文化」『古代中世文学論考』第4集に収録 新典社 2000年
- (11) 千 葉 真 也
1. 「古事記伝再稿本二之巻の初案について」『鈴屋学会報』13 (鈴屋学会、1996年)、1-16.

(12) 中 西 健 治

1. 「松嶋日記」の絵『論究日本文学』第66号 1997.3 (論文) (立命館大学日本文学会) pp.1-10.
2. 『平安末期物語攷』勉誠社 (平成9年度文部省科学研究費補助金「研究成果公開促進費」助成出版) 1997.11 (著書)
3. 「松嶋日記の研究 [注記編]」『相愛大学研究論集』第14号 1998.3 (論文) pp.210-220.

(13) 長 野 孝 男

1. 「女子学生の健康・体力とライフスタイル」『相愛大学研究論集』第12(2)巻 1996年
2. 『ライフステージにおける体力獲得過程について (共著)』1996年、スポーツ教育学研究

(14) 西 口 順 子

1. 「女性と亡者忌日供養」、西口順子編『中世を考える 仏と女』(吉川弘文館、1997年) 218-246.
2. 「中世後期仏光寺教団と村落——近江湖東地域を中心に——」、『講座 蓮如』4 (平凡社、1997)、267-294.
3. 「近世の宝鏡寺宮——浄照院宮逸敝理長の入寺と得度をめぐって——」、藺田香融編『日本仏教の史的展開』(槇書房、1999年) 519-537.

(15) 野 呂 忠 司

1. “Research on Reading Difficulties and Disabilities: Implications to L2 Reading.” 『相愛大学研究論集』第15(1)号、pp.41-49、1998年11月.
2. “Soai Extensive Reading Program in English: Focus on the Program and its Assessment.” 『相愛大学研究論集』第15(2)号、pp.17-40、1999年3月.
3. 「下位レベルの処理技能と外国語としての読解力」『中部地区英語教育学会紀要』29、1999年12月.

(16) 橋 元 淳一郎

1. 『人類の長い午後』(現代書林、1999年)
2. 「文明の《知の指導原理》に関する覚え書き」、『相愛大学研究論集』第15(2)巻、1999、67-77.

3. 「時間論のための覚え書き(1)——時間の不可逆性と熱力学第二法則——」、  
『相愛大学研究論集』第13(1)巻、1996、33-43.

(17) 本 多 至 成

1. 「敦煌仏教の周辺——『阿毘達磨大毘婆沙論雜抄』をめぐって——」渡邊隆生  
教授還暦記念論文集『仏教思想文化史論叢』1997年6月(永田文昌堂刊)
2. 「経覚と蓮如——奈良と京都の文化的交流を一視点として——」北畠典生博士  
古稀記念論文集『日本仏教文化論叢』上巻 1998年6月(永田文昌堂刊)
3. 「萱振と萱振御坊恵光寺」『河内どんこう』59号(特集・河内の歴史風土記)  
(八尾文化協会刊) 1999年11月

(18) 三 好 幸 治

1. 家 正治編『新版国際関係』世界思想社(2000年1月発行)第2章国際関係  
における主要なアクター §1 国際社会の多様化と多元化 43-51頁。§2 国  
家の主体制の再検討 51-58頁。§3 国家以外の主要なアクター(1)民族(家  
正治・三好幸治・共同執筆) 58-65頁。(4)多国籍企業 75-77頁。

(19) 山 下 昇

1. 「『ハックルベリー・フィンの冒険』における隠蔽と提示」、井川真砂他編『い  
ま「ハック・フィン」をどう読むか』(京都修学社、1997年)、212-234.
2. 『1930年代のフォークナー——時代の認識と小説の構造——』(大阪教育図書、  
1997年)
3. 「ハーレム・ルネサンスの女性作家：Jessie Fausetの場合」『黒人研究』No.68  
(黒人研究会の会、1998年) 16-21.

(20) 山 本 幸 男

1. 「造石山寺所の帳簿——筆蹟の観察と記帳作業の検討——」『相愛大学研究論  
集』14(1)(1997年) 85~141頁 14(2)(1998年) 13~41頁 15(1)(1998年)  
13~35頁。
2. 「造石山寺所の帳簿に使用された反故文書」皆川完一編『古代中世史料学研究』  
上巻(吉川弘文館、1998年) 105~143頁。
3. 「早良親王と淡海三船——奈良末期の大安寺をめぐる人々——」『高野山大学  
密教文化研究所紀要』別冊1『弘法大師の思想とその展開』(1999年)、61~  
85頁。

②1) 横 原 恭 士

1. 「俳句の情報量による一考察」『相愛大学研究論集』第13(1)巻、1996、45-55頁。
2. 「日本語の次文字予測からの検討」『相愛大学研究論集』第14(1)巻、1997、21-28頁。
3. Ichiro Nakamura, Takashi Yokohara, and Tetsuaki Tsuchido, “Database on Microbial Thermal Death: Its Construction Design Based on Data from Published Papers and from Experiments Performed under Defined Conditions” *Biocontrol Science* 5; 2000, 63~66, in press

②2) John Remsbury

1. “The Shape of Meaning in English Prose”, 3000 words, academic paper in the filed of literary stylistics, for LANGUAGE AND STYEL, (The City University of New York, U.S.A., 2000)
2. “Johnson, Boswell and Thomas Rowlandson,” (with 20 illustrations by Thomas Rowlandson), *Soai University Research Bulletin*, pp. 109-130, Vol. 13, March 1997.
3. The Wonder-Beasts of Bomarzo, (with 8 illustrations), *Soai University Research Bulletin*, pp. 89-103, Vol. 12, March 1996.